

令和4年7月14日

令和4年度病害虫発生予察注意報（第3号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
2. 対象作物：モモ、カキ、ナシ、ブドウ、キウイフルーツ
3. 対象地域：県北部
4. 発生量：多
5. 加害期間：5月中旬～
6. 注意報発表の根拠
 - 1) 紀の川市粉河の予察灯における6月26～30日の誘殺数は、チャバネアオカメムシが384頭（平成59.8頭）、ツヤアオカメムシが114頭（平成50.6頭）、7月1～5日の誘殺数は、チャバネアオカメムシが253頭（平成94.9頭）、ツヤアオカメムシが118頭（平成35.6頭）であった（図1、図2）。
7. 防除上の注意事項
 - 1) ほ場内への多飛来を確認したら早急に薬剤散布を行う。
 - 2) 山林に隣接するほ場では飛来が多く、集中して加害される傾向があるので、特に注意する。
 - 3) 台風通過後や強風後には、一時的にはほ場への飛来が多くなる可能性があるため注意する。
 - 4) 有田川町奥、みなべ町東本庄の予察灯への飛来量は平年に比べてやや多いので、県中部、県南部も今後の発生に注意する。
 - 5) 今後の発生動向については、農業環境・鳥獣害対策室のウェブページ内農作物病害虫防除所の果樹カメムシ情報（<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujyouhou.html>）や各地域の振興局、JA等の情報を参考にする。
 - 6) 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照し、適正に使用する。特に収穫が近いほ場では薬剤の収穫前日数に注意する。

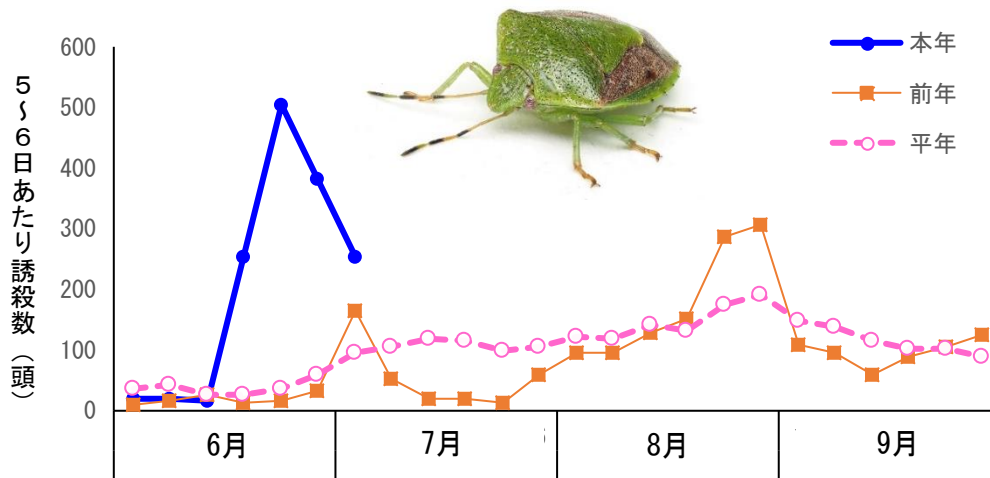


図1 紀の川市粉河の予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺消長

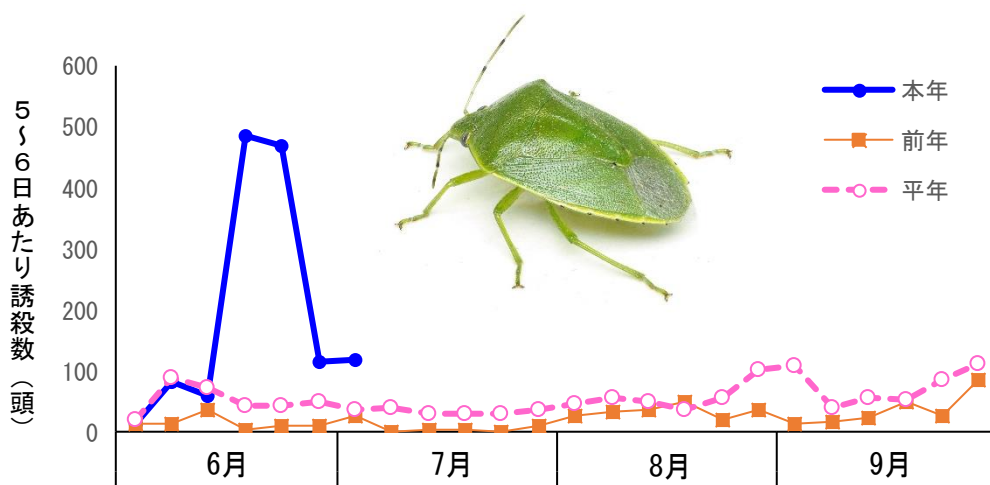


図2 紀の川市粉河の予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺消長

和歌山県農作物病虫害防除所 紀の川駐在
電話：0736(73)2274